



多摩支部会報第72号

MEIJI UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION

2025年9月13日発行

箱根駅伝予選会 応援特集号



明治大学は、2025年1月、創立150周年記念事業の一環として、「紫紺の襷プロジェクト～Mの輝きを再び～」の立ち上げを発表した。

2024年10月、第101回箱根駅伝予選会において、12位という悔しい結果になりました。さらに、1949年（第25回大会）を最後に、70年以上もの間、「優勝」の栄冠から遠ざかっています。この状況を打破し、さらなる高みへ導くため、このプロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトは、箱根駅伝本大会に返り咲くだけでなく、創立150周年である2031年度（2032年1月）の優勝に向けた7年間にわたる壮大な挑戦でもある。

明治大学、83年ぶりの総合優勝！

2032年1月3日午後1時過ぎの東京大手町。地鳴りのような大歓声そして、その大歓声にも負けない「お～お～、明治～！」の校歌が響き渡る中、10区の紫紺の襷のランナーが優勝のゴールテープを切る、その姿を想像してみてください。そんな歴史的な瞬間を想像で終わらせることなく、紫紺の誇りを皆様と共に繋ぎ、歴史的瞬間を共有しましょう。

創立150周年となるこの時こそ、全国60万人の校友、学生、教職員、父母、全ての人の悲願である「箱根駅伝優勝」を手にする時です。道のりは長く険しく、決して平坦ではありませんが「ALL明治」による壮大なプロジェクトです。

これを実現するためには、全学を挙げた支援体制の構築に加え、優秀な指導者の招聘、選手たちの情熱・奮闘、そして校友を始めとした多くの皆様からの熱い支援が不可欠です。

何卒、当プロジェクトへのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

資料：明治大学 HP

明治大学競走部の歩みと未来への挑戦

栄光の歴史、そして未来へ

明治大学競走部は、1907年に創部され、明治大学の運動部の中で7番目に誕生しました。現在の拠点である八幡山グラウンド（東京都世田谷区）に移転するまでは淀橋柏木（現在の新宿区）に運動場を構えていました。創部当初から環境整備と競技力向上に務め、1909年には400メートルトラックを整備し、多くの優秀なランナーを輩出。日本の駅伝競技の黎明期から、その発展を牽引してきました。

箱根駅伝の誕生と「オリジナル4」

箱根駅伝はオリンピックマラソンランナーであり「日本陸上の父」と称される金栗四三氏の発案によって、1920年に誕生しました。「世界に通用するランナーを育てる」という大志のもと、現在まで続く東京・大手町から箱根・芦ノ湖までの往復約200kmを舞台とした長距離駅伝が始まりました。初回大会には「オリジナル4」と呼ばれる明治大学、早稲田大学、慶応大学、東京高等師範学校（現・筑波大学）の4校が参加。その歴史的なレースで明治大学は惜しくも最終10区で逆転され2位に終わりました。しかし、翌1921年の第2回大会では、9区で劇的な逆転を果たし、初の優勝を手にしました。

伝統校としての誇りと苦難の時代

明治大学競走部は、箱根駅伝の創設期から活躍し続ける伝統校です。戦前・戦後を通じて数々の輝かしい記録を刻んできましたが、最後に箱根駅伝で総合優勝を果たしたのは、1949年（第25回大会）です。その後、優勝から遠ざかり、1974年（第50回大会）の出場を最後に、10年間の箱根駅伝不出場という苦難の時期を迎えました。その後、1984年（第60回大会）に復帰を果たし、本大会出場とシード権獲得を目指して挑戦を続けました。1992年（第68回大会）から再び低迷期に入り。本戦に出場できない期間が長く続きましたが、2005年（第81回大会）に14年ぶりの本戦出場を果たし、2011年（第87回大会）から2015年（第91回大会）まで安定的にシード権を獲得。しかし近年では2020年（第96回大会）の6位入賞が最高成績で、その後は徐々に順位を落とし、2025年（第101大会）では本戦出場を逃すという悔しい結果となりました。

進化する駅伝界と明治大学の挑戦

近年の箱根駅伝は、各大学とも科学的トレーニング、高度な戦略、高地トレーニング、最新シューズ技術などを駆使し、超高速化が進んでいます。もはや学生スポーツの枠を超えた熾烈な戦いとなり、大学をあげた総力戦なしには勝利をつかむことが難しい時代となっています。この現実を受け止め、明治大学は、2025年1月、競走部への支援を大幅に強化することを決定。新たに「紫紺の襷プロジェクト～Mの輝きを再び～」を立ち上げ、駅伝界の頂点を目指します。2025年4月1日からは、大志田監督をはじめとする新スタッフ体制が始動し、1949年以来の総合優勝を目標に掲げます。

紫紺の襷をつなぐ未来へ *Challenge for the future*

110年以上にわたる伝統を背負いながら。明治大学競走部は新たな時代へと挑みます。栄光の歴史を誇りに、そして未来への希望を胸に、紫紺の襷をつなぎ続けます。



Interview

大志田秀次 駅伝監督

Profile

明治大学体育会競走部
大志田秀次 駅伝監督

1962年5月27日 岩手県盛岡市生まれ。

盛岡工業高校から中央大学に進学。現役時代には箱根駅伝に2度出場を果たし、4年生の時には8区で区間賞を獲得。卒業後は、Hondaの陸上競技部に入部し、1,500 ㌢を主軸に活動。86年アジア競技大会に1,500 ㌢日本代表として出場し、金メダルを獲得。現役引退後の91年から01年まではHondaでコーチを務めるのと併行し、中央大学のコーチを務めた。

11年には、創部されたばかりの東京国際大学駅伝部監督に就任。創部から僅か5年後の16年に、チームは第92回箱根駅伝に出場を果たし、19年には、全日本大学駅伝初出場、20年には、箱根駅伝シード権初獲得、21年に出雲駅伝に初出場、初優勝と10年間で東京国際大学を急成長させた。

22年をもって、監督の座を退き、23年からHonda陸上競技部でエグゼクティブアドバイザーに就任。

2025年4月、明治大学体育会競走部駅伝監督に就任。

□この2か月半で選手の成長や変化はありましたか。

今までは、練習前のストレッチを各自で行っていましたが、現在は全体で行うように変更しました。統一して練習を行っていく中で、選手たちもより緊張感をもって練習しているだろうと思います。

□東京国際大学での指導経験の中で、明大での指導に活かせるものはありますか。

選手と会話をするのは、どんなチームでも大切です。選手と会話をして何か伝えたい、また選手が思っていることを聞いて、それに伝えたいという気持ちは大きいです。指導とは、こちらが発言して満足することではありません。選手が納得して、行動に移せるようなコミュニケーションを心掛けていきます。

(選手たちに求めるもの)

□明大競走部は自主性を重んじる特色があると言われますが、大志田駅伝監督はどのようにお考えですか。

自主性というのは単に好き勝手やるということではなく、「ある目標のためのアプローチを自分で決めて実行していくこと」だと考えています。明大を優勝させるためには、選手全員が必要なものを考えて、それを突き詰める必要があります。大事なものは、勝ちたいか、勝ちたくないか。一人一人に与えられている時間は平等なので、それをいかに勝つために使うかが重要だと思います。

□大志田駅伝監督が考えるエース像とはどのようなものですか。

練習でも生活でもストイックな姿で他人の模範になることが出来る人はエースになる資質があると考えています。ただ、明大は1人の選手で勝つチームではないので、みんなが自分自身を律して強くなる必要があります。

□より良いチームづくりにはどのような要素が必要ですか。

選手それぞれが、ライバルを持つことだと思います。反目し合っているからではなく、仲がいいからこそライバルになれる。お互いに負けたくないと思える仲間は、貴重ですし、そういった集団が良いチームだと思います。僕が目指すのは、単に速いチームではなく、“強いチーム”です。

□箱根駅伝予選で戦い抜くために必要なものは何だとお考えですか。

自分で走る力です。集団走はできるのに、個人走になるとベースを崩してしまうことが明大の課題だと感じています。他人についていくのではなく、集団を引っ張って行く気持ちがないと実力はついてきません。他人任せで力のない走りでは、箱根本選も戦い抜けない。それぞれのレースをすることに意義があると思います。

□応援して下さる皆様へメッセージをお願いします。

競走部の選手たちは、目標に向けて一生懸命努力しています。そこで、私にできる仕事は、彼らの努力をいい結果として形にすることだと思っています。選手たちと一緒に、夢に向かって挑戦します。

明治大学 箱根駅伝のこれまでの順位記録

回・年	総合順位	往路順位	復路順位	回・年	総合順位	往路順位	復路順位
1回：1920	2位	1位	3位	45回：1969	15位	15位	9位
2回：1921	1位	2位	2位	48回：1972	15位	15位	15位
3回：1922	3位	5位	2位	50回：1974	17位	15位	17位
4回：1923	4位	1位	5位	60回：1984	18位	18位	17位
5回：1924	1位	2位	1位	61回：1985	15位	15位	14位
6回：1925	1位	2位	1位	62回：1986	15位	12位	15位
7回：1926	2位	2位	1位	63回：1987	14位	14位	12位
8回：1927	3位	2位	3位	64回：1988	10位	12位	6位
9回：1928	1位	1位	2位	65回：1989	11位	13位	8位
10回：1929	1位	2位	1位	67回：1991	14位	6位	15位
11回：1930	2位	4位	3位	81回：2005	18位	16位	19位
12回：1931	5位	6位	4位	82回：2006	18位	16位	19位
13回：1932	9位	9位	7位	83回：2007	16位	11位	19位
14回：1933	4位	4位	4位	85回：2009	8位	7位	9位
15回：1934	6位	5位	6位	86回：2010	10位	6位	14位
16回：1935	5位	3位	6位	87回：2011	5位	4位	7位
17回：1936	8位	9位	9位	88回：2012	3位	3位	3位
18回：1937	3位	2位	5位	89回：2013	7位	4位	13位
19回：1938	失格	2位	2位	90回：2014	6位	7位	7位
23回：1947	1位	1位	3位	91回：2015	4位	2位	6位
24回：1948	3位	6位	4位	92回：2016	14位	17位	9位
25回：1949	1位	1位	2位	93回：2017	18位	17位	16位
26回：1950	3位	3位	4位	95回：2019	17位	11位	21位
27回：1951	2位	2位	3位	96回：2020	6位	5位	4位
28回：1952	4位	3位	4位	97回：2021	11位	14位	7位
29回：1953	4位	5位	7位	98回：2022	14位	17位	3位
30回：1954	5位	4位	5位	99回：2023	12位	12位	13位
32回：1956	14位	15位	13位	100回：2024	20位	23位	8位
33回：1957	14位	11位	15位	(資料：読売新聞オンライン) (注) 上記表のうち、出場なしの回は、未記載。			
36回：1960	10位	10位	10位				
37回：1961	5位	3位	5位				
38回：1962	2位	4位	2位				
39回：1963	2位	4位	1位				
40回：1964	9位	9位	8位				
41回：1965	8位	10位	7位				
42回：1966	10位	10位	8位				
43回：1967	15位	15位	12位				

「紫紺の襷プロジェクト」開幕です



Meiji

箱根駅伝 予選会 応援に行こう！

10月18日(土) スタート時間：8時30分



「紫紺の襷プロジェクト」開幕です。明治大学の夢の実現を
先ずは、シード権の獲得に向けて！

多摩支部の皆様のこれまでにない力強い応援をお願いいたします。

箱根駅伝予選会は、2025年10月18日(土)立川昭和記念公園で開催。

□箱根駅伝予選会で応援される皆様へ

集合場所：立川昭和記念公園 西立川口ゲート前 (JR 青梅線西立川駅下車徒歩2分)

集合時間：10月18日(土) 午前8時30分 (立川昭和記念公園の入園料は各自購入)

結果発表後、立川「良銀」で、早めの昼食会(予選会通过祝賀会)を午前11時から行います。昼食会参加希望者は、10月5日(土)までに、江面にご連絡下さい。

(なお、お申し込みは、下記のメールをお願いいたします。)

お問い合わせは、多摩支部幹事長 江面まで <event@meiji-tama.net>

箱根駅伝予選会のコースは全長20km、陸上自衛隊立川駐屯地内の滑走路がスタート地点です。滑走路を2周周回して立川警察署前の交差点から立川市の市街地へ出ます。公園の外周を回って砂川口まで戻ったら公園内に入り公園西側を大きく一周し公園内部のゴール地点に向かいます。ゴール後はみんなの原っぱの特設ステージで結果発表が行われます。

大人も子どもも楽しめるイベントが盛りだくさん！ 開催予定企画の一部をご紹介します。



和太鼓 TAWOO(タヲ)

スペシャル演奏会と和太鼓体験！

- 📍 リバティタワー1階 リバティホール
- 🕒 演奏会11:30~/体験12:05～



明治大学と山の上ホテル

- ①企画展「明治大学と山の上ホテル—文化の薫りの継承」、
- ②写真展「明治大学と山の上ホテル」、
- ③スタンプラリー(リバティタワー、アカデミーコモン他、計5スポット)
- ④シンポジウム「明治大学と山の上ホテル」

- 📍 ①リバティタワー 23階岸本辰雄ホール ②大学会館1階エントランス
- ④リバティタワー 1階1011教室
- 🕒 ①②③10:00～16:30 / ④12:30～14:00



マンドリン倶楽部演奏会

当日限りのスペシャルプログラムをぜひお楽しみください。

- 📍 アカデミーコモン3階 アカデミーホール 🕒 15:30～16:30



多摩の校友の皆さん
おかえりなさい



新春を駆ける、 紫紺の襷 ～紫紺の襷プロジェクト～

明大競走部によるトークセッション、写真撮影、プレゼントコーナー等、駅伝ファン必見の企画です。

- 📍 リバティタワー1階 リバティホール 🕒 14:00～15:00



豪華景品が
当たるかも!?

寄付イベント

ホームカミングデー当日、会場にて「明治大学創立150周年記念事業募金」に寄付いただいた方限定!



キッズコーナー&ワークショップ

緑日遊び・ぬり絵・楽器作り・スライム作り...etc.
体験型の遊びを多数ご用意しています!

- 📍 グローブ11

物産展

明大グッズや明大にゆかりのある各地の特産品等を販売します。今年も数々の酒蔵が出店!

- 📍 アカデミーコモン2階
- 🕒 11:00～16:00



母校の“今”に触れ、秋の一日を満喫下さい。

多摩支部の皆様へ 「たましん美術館」のご案内

多摩地域の過去から現代の姿を、「たましんコレクション」で、のぞいて見ませんか

多摩の空は



アートとアーカイブで描く多摩の地域文化

『多摩のあゆみ』創刊50周年記念展

Tama no Ayumi 50th Anniversary Exhibition: How Is the Sky of Tama Shared?

2025年 令和7年 10月11日 | 土 | — 12月21日 | 日

たましん美術館 (〒190-8681東京都立川市緑町3-4多摩信用金庫1階)

10:00-18:00(入館は閉館の30分前まで)

休館日: 月曜日(祝休日の場合は翌平日)

10月13日[月・祝]、11月3日[月・祝]、24日[月・祝]は開館して、10月14日[火]、11月4日[火]、25日[火]は休館

入館料: 500円、高・大生300円(中学生以下無料)

主催 | 公益財団法人たましん地域文化財団 後援 | 立川市地域文化振興財団

つながって
いるか